福野地域まちづくり検討会議 会議録

件　名	福野地域 第14回 まちづくり検討会議		
日　時	平成30年 12月12日(火)	場　所	福野庁舎 3階 301会議室
出席者	〔検討会議委員〕9名 〔ファシリテーター〕谷内博史、能登貴史		
内　容	・地域別意見交換会（地域審議会委員との意見交換と同時開催）を経ての提言内容の最終調整		
詳　細	【地域別意見交換会･地域審議会委員との意見交換を踏まえ､提言内容の精査・再検討】 **「現状と課題について」** →しっかりとした現状把握と課題抽出に基づいて、絶対的に必要な複合交流施設、空き地・空き家対策、リノベーションスクール、人口減少対策としての高校生のまちづくりへの参加であり、南砺市においてモデルとなるまちづくりであることを強く印象づける必要性。 福野が南砺を支え､中心となって南砺から全国そして世界へと広がっていくくらいのスケールで打ち出す提言｡それだけに｢現状と課題｣は､多くの市民が危機感を共有できるものでなければならないし､それに続く提言部分が多くの方々に期待度を持たせるものでなければならない。 →「まちの優位性を活かした持続可能なまちづくり」をテーマとして強調。 **「新しい核となる拠点づくり（複合交流施設）」** →建設は市主体で、運営は地元・民間とし、｢PPP方式やPFI方式の検討｣は｢PPP方式やPFI方式の可能性の追求｣に修正。｢まちづくり会社を設立し大家となって施設の運営を担う｣とする文言は提言から除く。 **「駅周辺・空き家・空き店舗・空き地の活用」** →駅周辺の整備を強調すべきでは？ →｢どこで(場所)｣に｢空き地｣を追加し、福野庁舎跡地とファブリカ跡地を併記する。 **「人口減少を見据えた次世代に繋がる持続可能なまちづくり」** →高校生をターゲットとして重視しているが､小中学生や大人･高齢者まで全年齢層の｢学びの場｣としての機能や仕掛けの検討は？ →高校生をまちづくりに参加させる理由付け 7月の意見交換会で寄せられた意見 ～ 高校生の意見を聞きたい ～ アンケート実施 ～ 地域への興味が希薄 ～ まちづくりへの参画を促したい　という一連の経緯に触れておく必要性 →小中学生が無視されている・置き去りにされているというふうに受け取られないよう配慮 （前提として既に｢ふるさと教育｣が充実していることに触れておくなど） ▽12月19日の全体会での各分科会の発表者と最終提言発表資料の作成担当者を選出		
備考 課題・宿題・ 今後の対応等	【次回】 まちづくり検討会議全体会議（市長への提言）　12月19日(水) 午後7時～　城端庁舎3階ホール		